

災害を知る

地震

地震発生時の行動

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。



緊急地震速報を見聞きしたら身を守る



落ちてくる物、倒れてくる物から身を守る



揺れが収まってから消火確認



割れたガラスなどでけがをしないよう注意する



近隣で協力し、近所の安否確認などを行う



自宅で生活できない場合は避難所へ



- ・引き続き、地震に注意する
- ・気象情報などにも気をつける

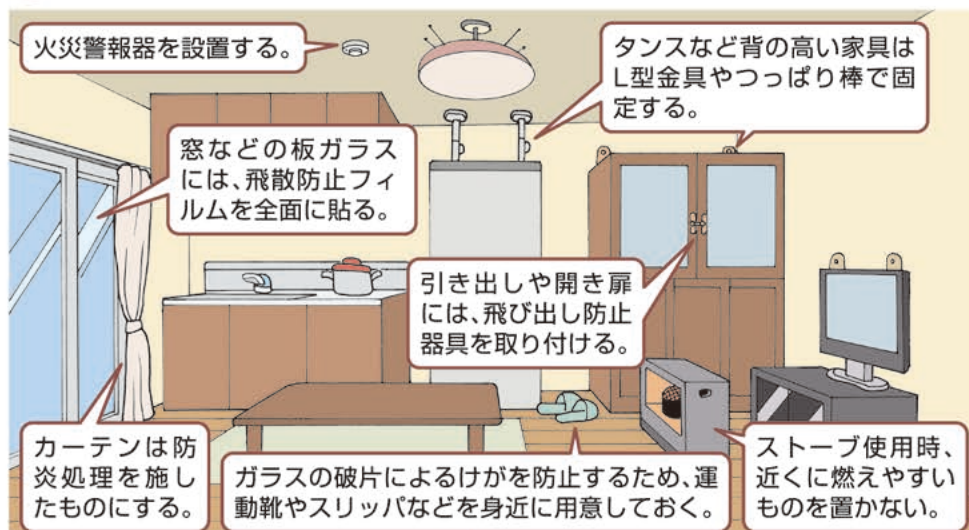
海の近く、津波浸水想定区域内で大きな揺れを感じたら

「少しでも早く、少しでも高いところへ」避難！

津波警報などが解除されるまで絶対に戻らない

室内の安全対策

災害に備えて室内を点検

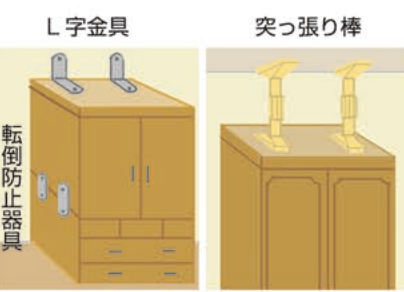


安全のために、以下のようなことも大切です

- ・大きな家具は人の出入りの少ない部屋にまとめて置くようにする。
- ・玄関や廊下に家具や荷物を置かない。(避難時の妨げになる。)
- ・高齢者や子供のいる部屋や寝室には、倒れやすい家具は置かない。

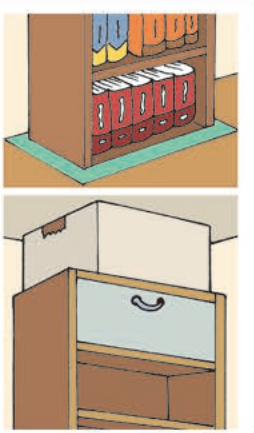
家具の転倒を防ぐ

タンスや本棚などはL字金具で固定する。突っ張り棒は、耐震用粘着マットや家具転倒防止板などと併用する。



すぐできる転倒防止対策

- ・重い物を下に、軽い物を上に収納する。
- ・滑り止めシートの上に家具を置き、天井との隙間が2センチ以内になる箱を用意し、箱の下に粘着マットを敷き、家具と一体化する。
- ・ドアや寝ている場所に家具が倒れないように配置を見直す。



災害を知る

津波

津波警報・注意報の種類

津波による災害発生が予想される場合には、地震発生後約3分を目標に気象庁から大津波警報、津波警報、津波注意報が予報区単位で発表されます。その場合には、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどが津波情報として発表されます。

気象庁から発表される「津波の高さ」は海岸付近での高さを指します。数十センチの津波でも速い流れに巻き込まれたり、漂流物が直撃したりすると危険です。また、陸地を駆け上がった高さ(遡上高)は地形などの影響により、発表される「津波の高さ」よりもはるかに高い地点まで達することがあるので注意が必要です。



種類	予想される津波の高さ		想定される被害ととるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の表現	
大津波警報(特別警報)	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	巨大な津波により木造家屋が全壊・流失し、人は津波の流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる場合は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。
	10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
津波警報	5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)	高い	標高の低いところでは津波による浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。沿岸部や川沿いにいる場合は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。
	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)		
津波注意報	1m (20cm<予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが出し、小型船舶が転覆する。海の中にいる人はただちに海から上がり、海岸から離れる。

めったに起こらない大きな地震が発生したときには、津波がくると考えましょう。

「大きくゆれたら、すぐに避難！」

Topics 2

札幌管区気象台からの情報コーナー

余市町で平成8年以降に観測された地震

余市町では、平成8年に朝日町(役場庁舎内)と浜中町(モイレ台)に震度計が設置されました。

※震度5~7観測データなし。

(震度計設置後の大きな地震)

震度(余市町)	発生日時	震央地名
震度3	平成15年9月	十勝沖(十勝沖地震 余震)
	平成24年8月	十勝地方南部
	平成28年1月	浦河沖
震度4	平成29年7月	胆振地方中東部
	平成15年9月	十勝沖(十勝沖地震)
	平成30年9月	胆振地方中東部(胆振東部地震)

※平成5年に発生した北海道南西沖地震では、震度4~5と推定されています。

後志地方北部で津波を観測した地震

